

讀書 / 一上

- ・新裝改訂版 煤炭坑繪卷 山本作兵衛
海鳥社

●ヤマの記憶 山本作兵衛[明々書]

西日本新聞社

衝撃の本2冊、すうり重い立派な本、福岡県筑豊地方の記録画、日記やノートなど697点が日本で初めてユネスコ世界記憶遺産に登録された。(アンネの日記、ベトナム交響曲第九の自筆譜などと並んで)。

明治25年生まれの作兵衛は、尋常小学校卒業後、数え年8歳で坑内に下かり、父とともに採炭などの作業に。17歳のころ、漢和辞典を借りてそれを全部ノートに書き写して覚えた。苛酷でみじめな強制労働。“生き地獄”的有り様を細部に至るまで記憶し、絵に描き、文章で記す。産業化、エネルギー革命、石炭から石油へとエネルギー転換期を迎えて、「ボタ山」も消えていった。孫たちにやマの生活、生きてきた体験を書き残していくと、ひたすら書き描いた感動の書です。

● 本を守ろうとする猫の言葉

卷之三

「今、この本読んでよ」と、スカイフロで見せてくれた本、さし絵ではなく文字た日本人作家がフィンランド語に訳された本。私も図書館へ。児童書ではない、むつかしい、小学生に読めない両親を亡くして古本屋を営む祖父のもとで暮らす高校生夏木林太郎、祖父が亡くなると、そこにはわされた一匹の猫、ファンタジーか、ミステリーか、一人に読み進む。著者は地域医療に従事する医

~大きい♪ 東の空に光輝く星、明けの明星、金星。地球よりわずかに小さい惑星。散歩道次第に空が明けていく。

ほあちやんの山草の酢物 左記の山本作兵衛の孫、井上氏の恩出

「タツ！ 姫ちゃんは常に流しに立って、僕らに料理を作ってくれていました。座っている姿を見たことがあまりない姫ちゃんか」 作ってくれた料理は、野菜や魚の煮付けが多かったけれど、そんな中で一番印象に残っているのは、短冊切りにした山芋を三杯酢に漫し、梅肉、前り節や刻み海苔を添えたものだ。程よく酢漬けはよく？ 大好きなん料理でした。



けやき通信

日没後
西の空に
宵の明星

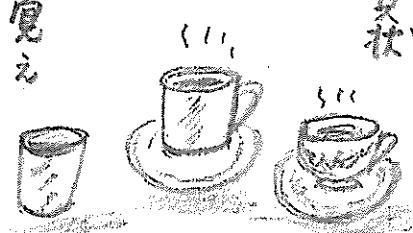
—錦織佳代子—

朝はダービー
昼はコーヒー
夜は一杯の
酒

娘に聞いた
ある人からの年賀状

いいですかえ。どんな人で、
いろいろ想像します。二年で
かがやは あそぼしがすれ
朝はコーヒー！ 夜は酒粕の甘酒
夜はたまに日本酒、ありがたいです。

④ さつま芋 200g、ワカリのわ切りか半月切り。
油揚 1枚食べやすい巾幅の細切り
なべに出し汁 3カップと④を入れ
さつま芋がやわらかくなったら"煮込み"
味噌大さじ2~3で味をととのえ、長ネギ
小口切りをえみ。



1月28日

早くも桜!
一枝咲く

2月2日 2分咲きの木が
2本

波方町海山城への登り道
ヒンクの花、うれしくなる。
地元出身の方の力添えで
河津木巻かたくさん
植えられている。
朝のよう。

足が冷えるから

テレビで見て
ヒートウォーマー
(足首ウォーマー)を
つけて寝る。

ずっと前
フィンランドの
ヤンネから
頂いた
ソックスに穴があいたので
足首部分をハサミで切ったのは
裏起毛、ふんわりゆる目が多い。
X ソックスをはいて寝る
のはよくないさ。